K's NEWS KANSAI HOKURIKU BLOCK in AREA ×3

開催報告

全国大学生協連
関西北陸ブロック
執筆者：関西北陸ブロック
新学期スタートダッシュ
セミナー内局
発行日：2026年11月12日

関西北陸ブロック
新学期スタートダッシュセミナー2027



概要

日程：2026年7月4日（土）10：45～17：00
場所：立命館大学 びわこ草津キャンパス プリズムホール

参加者

富山大(12)、富県大(6)、福井大(27)、京都大(4)、京教大(5)、奈良女(8)、奈高専(3)、奈良教(3)、滋賀大(6)、京府大(7)、奈県大(1)、滋県大(15)、同志社(18)、立命館(43)、龍谷大(43)、京都橘(13)、大阪大(9)、和歌山(14)、公立大(5)、兵県大(13)、神外大(5)、甲南大(3)、近畿大(41)、関学大(10)、大経大(12)、阪電通(9)、甲女大(4)、阪南大(12)、松蔭女(4)、インカレ(1)、事業連合(16)、コープ共済連(2)
計32会員374名（学生委員237名、生協職員106名、新学期サポーター31名）



企画局長より、新学期を振り返る意義とキーポイントを伝え、この後の企画につながる視点を共有しました。

01 全体を通して

2027年度新学期へ、ここから動き出す

新学期スタートダッシュセミナー2027では、2026年度新学期の実践を振り返りながら、新学期活動に込めたい想いや大切にしたい価値について考えました。参加者一人ひとりが自大学の新学期を思い描き、2027年度に向けて動き出すきっかけとなることを目指しました。このセミナーを通して、学生・職員が共に考えながら、それぞれの大学らしい新学期活動につなげていきましょう！

02 企画①_全体会 売るためではなく、支えるために

新学期の“原点”を問い直す

全体会の冒頭では、新学期を「大学生活全体を支える取り組み」として捉え直しました。取り組みが増える一方で、「新入生は何に困っているのか」という視点が置き去りになっていないかを問い直し、新入生の困りごとを起点に取り組む大切さを学びました。新学期を4年間の大学生活を支える入り口として捉え、「誰を・何のために支えるのか」という原点を改めて確認しました。

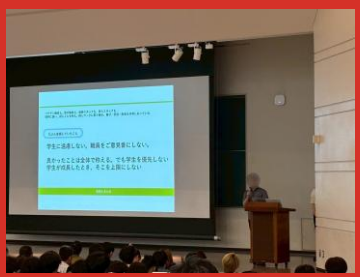


新入生の不安を解消して支えるためにしているということを再確認できました。
(和歌山/3年)

03 企画①_全体会 龍谷大学生協による報告

“任せる”から“共につくる”へ

龍谷大学生協からは、「学生×職員の協働で紡ぐ『信頼』の新学期作り」をテーマに報告いただきました。職員から指示を受けて動く関係から、学生と職員が互いに意見や想いを伝えあい、一緒に考える関係へと変化してきた過程が紹介されました。会話や振り返りを重ね、お互いを知り期待や想いを共有することが、新入生・保護者への安心や信頼につながっていることを学びました。



「先輩学生は元新入生」というキーワードは、より説得力のある説明に結びつけられると感じました。
(神外大/職員)

04 企画①_全体会 グループディスカッション

「何をした」から「なぜしたか」へ

龍谷大学生協の報告を受け、参加者同士でグループディスカッションを行いました。新入生のどのような困りごとに向き合い、なぜその活動が必要だったのか、その背景にある想いや考え方に目を向けました。それぞれが大切にしたい活動を共有しながら、「私たちは何のために新学期に取り組むのか」を改めて考える時間となりました。



新入生サポートの目線を揃えて、目指すところを一致させるための心掛けが素敵だと感じた。
(大阪大/4年)

05 企画②_分科会 交流する時間

事例の先にある“考え方”を持ち帰る

テーマごとに他大学生協の実践を聞き、その内容をもとに参加者同士で交流しました。単に事例や手法を持ち帰るのではなく、「何のために取り組んでいるのか」「新入生の暮らしの何を支えているのか」「学生・職員をはじめ、生協ALLでどのように関わっているのか」という視点を持ちながら、取り組みの背景にある想いについて考えました。



学生だけ、職員だけではなくどちらの力も借りてこそ真の力を発揮できると感じました！
(龍谷大/2年)

06 企画③_自大学の時間 新学期を設計しよう！

学びを、自大学の次の一歩へ

「自大学の時間」では、全体会や分科会を通して得た気づきや学びを。自大学の現状と照らし合わせながら整理しました。学んで終わるのではなく、2027年度新学期に向けて「自大学では何を大切にしたいのか」「これからどのような取り組みを進めていくのか」を具体的なアクションとして言語化しました。



みんなでより良い新学期をつくる、という意思統一ができたと思います！
(福井大/職員)

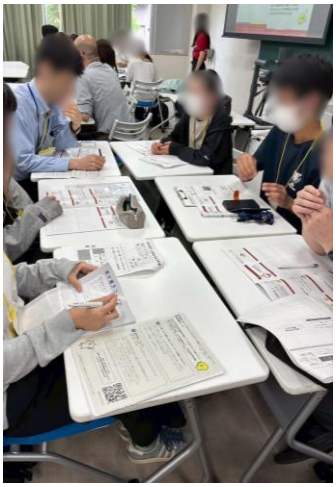












つながる元気、ときめきキャンパス。
univ. CO-OP

4 質の高い教育をみんなに

私たちは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

ご質問や[K's NEWS]で紹介したい活動があれば、ご連絡ください！
ブロック学生事務局 [市堰 遼河]
Ichiseki.Haruka@univ.coop